

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スーパーキッズ宮ノ内校				公表日	令和6年9月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		放課後デイサービス基準の1人当たり3㎡の運営基準を満たしている	引き続き継続していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		国や京都市が定める人員配置より多く配置している	引き続き継続していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		子どもたちがわかりやすいように掲示を行いトイレは手すりバリアフリーにしている	引き続き子どもたちのわかりやすいように支援していく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		1日2回清掃を行い、日々清潔であることを心掛けている	引き続き継続していく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じてクーリングルームを活用している	引き続き継続していく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルに基づき支援している	引き続き継続していく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○	保護者向け評価表の結果により業務改善につながる話し合いをしている	今後は保護者様の意向を聞く機会を設けさらなる業務改善につなげていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間での話を常に密に行い業務改善につなげている	引き続き職員間で意見の出しやすい職場作りをしていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価はありませんが業務改善につなげている	必要に応じて外部評価などに計り業務改善につなげている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修の機会を設けている	引き続き継続していく	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月、支援プログラムを保護者様に向けて公表している	引き続きしっかりと公表していく	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々にアセスメントを行い、適切な個別支援計画を作成している	引き続き実施していく	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援作成に向けて会議を行い適切に行っている	引き続き実施していく	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書は常に職員間で共有している	引き続き実施していきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎回、子供たちの様子を記録として残している	引き続き実施していきます	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画書は、児童発達支援ガイドラインを踏まえ作成されている	引き続き実施していく	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム担当のスタッフを中心に立案している	引き続き実施していく	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子ども達の活動の様子や保護者にアンケートをとり工夫をしている	引き続き実施していく	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に合わせて、児童発達支援計画を作成し支援を行っている	引き続き実施していく	

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日ミーティングを行い、チームで連携して支援を行っている	引き続き実施していく	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、支援終了後にミーティングを行い支援の振り返りを行っている	引き続き継続していく	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の様子を記録として残り改善につなげていく	引き続き継続していく	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて児童発達支援計画を作成し直していく	引き続き継続していく	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理者や施設長など子どものことをしっかりと理解している者が参加している	引き続き継続していく	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携を図っている	引き続き継続していく	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて連携を図っている	引き続き継続していく	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	○	必要に応じて連携を図っていく	引き続き継続していく	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて連携を図っていく	引き続き継続していく	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	必要に応じて連携を図り、地域の中で他のこどもと活動する機会を作る	必要性を今後も精査していく	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や電話などで常に保護者と連携をとり共通理解を持つようになっています	引き続き継続してきます	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて家族支援を行っている	今後はペアレント・トレーニングなどさらなる支援を考えている	
	保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に時間をかけて説明を行い、わからない時などはその都度お伝えしている	引き続き継続していく
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者のご意向を聞き、ニーズに合わせた個別支援計画を作成している	引き続き継続していく
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援作成後は保護者に個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い同意を得ている	引き続き継続していく
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族などからの子育ての悩み等には適切に対応している	引き続き実施していく
		39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会などは保護者の声を聞きながら必要に応じて柔軟に開催している	保護者の声を聞きながら検討を重ねていく

説明等	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者からの相談や申し入れについては迅速に対応していく	引き続き実施していく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、スーパーキッズ通信を配信するとともに適宜情報を発信していく	引き続き実施していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分に留意している	引き続き継続していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		手話やカードなどを用い、子供たち一人一人と意思の疎通ができる環境を作っている	引き続き実施していく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	必要に応じて実施していく	必要に応じて実施していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		スーパーキッズ通信にてマニュアルを配布、訓練を行っている	引き続き実施していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		スーパーキッズ通信にてマニュアルを配布、訓練を行っている	引き続き実施していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に子どもの状況を確認している	引き続き継続していく
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	医師の指示書がある子どもはいないが適切に対応していく	引き続き継続していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の元、安全管理が十分にされた中で支援を行っている	引き続き継続していく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を家族と共有している	引き続き継続していく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの共有と再発防止の対策をしている	引き続き継続していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待を防止するため職員の研修機会を確保している	引き続き継続していく
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		十分に説明を行い納得している	引き続き継続していく	